

わがまち **Araijuku**
新井宿

自治会 東三丁目
自治会 四丁目
会 三丁目
会 一丁目
会 中央
会 新宿五丁目
会 新宿六丁目
会 新宿七丁目
共同編集

カナダの作家、L・M・モンゴメリの書いた『アン・オブ・グリーンゲイブルス』は、一九五二年、翻訳家・村岡花子により、『赤毛のアン』となって、初めて日本で紹介されました。村岡花子（一八九三〜一九六九）は、山梨県甲府市で生まれ、東洋英和女学院を卒業し、その後、英語教師の傍ら柳原白蓮の紹介で歌人、佐々木信綱の門下生となりました。アイルランド文学の翻訳家、片山広子との長い親交もここから始まりました。その頃（一九二六年）、最愛の我が子を失った悲しみを契機に、「だ、我が子は失ったけれ



書齋がそのまま記念館に



一九五〇年代の村岡花子

ど、日本中の子供たちのために」という気持ちで翻訳の活動に入り、さらに、NHKラジオの囑託（一九三二年）として「子供新聞」という子供向け二ユーソ番組を担当し、「ラジオのおばさん」として親しまれました。東京大田区中央にある、村岡花子の自宅には、書齋、数多く翻訳した原書、著作物や蔵書等がそっくりそのまま保存されています。一九九一年、三月、娘のみどりさん一家が『いつまでも、アン』と初めて出会った時の感激と、

孫の美枝さん・恵理さんのお話を聞いたり、お茶やお菓子を頂くお茶会風のオープンハウスです。又、オープンハウスのほかに定期的に二ユーソライターも発行しています。

（記念館資料より）

*通常月二回のオープンですが、遠方の方や人数が多い時は、臨時に開きますので、参加希望者は、早めに記念館までがきで予約してください。

大田区中央三十一一四
村岡花子記念館
入館料 無料

この情報紙は、思いやりとふれあいのある町づくりに役立つよう願って発行しています。



◆新井宿五丁目町会

ミニポンプ隊誕生!!
女性ばかりの消防隊です。九月七日の防災訓練では、見事に放水して、日頃の練習の成果を披露しました。新しい会員の参加をお待ちしております。



☆☆☆受章おめでとうございます☆☆☆

◆東京都青少年育成功労者
沖 稔
◆東京都赤十字奉仕団功労表彰
〈金梓支部長感謝状〉
影山 由季
〈銀梓支部長感謝状〉
山内 大三

〈銅梓支部長感謝状〉
田中 京子 南雲 菱子
間宮 勝子 菅 房子
永峰 圭子 和田久美子
清水すみ子 金子 泰士
寺内 文雄 田中タネ子
原 末子 五月女則子

中村よし子 阿部 峯子
奥山とよ子 星野 光代
高塚 静代 佐藤 京子
遠山 豊子 遠藤 輝子
鯨井 満子 山口美津子
(敬省略)

問合先 伊東孝夫さん
電話 三七八一三三三八

昨年優勝の「大田近代五種」

◆第十四回区民スポーツまつり
新井宿ヘラクレス大健闘



「綱引き」一次予選で、六郷大森西に敗れたものの久が原、蒲田東、羽田と連勝し三勝二敗でブロック三位となりましたが、惜しくも二回戦には進めませんでした。

編集後記

☆前回の新井宿地区「昔と今」大きな反響をいただきました。これは一重に貴重なお写真のご提供があったことです。ありがとうございます。

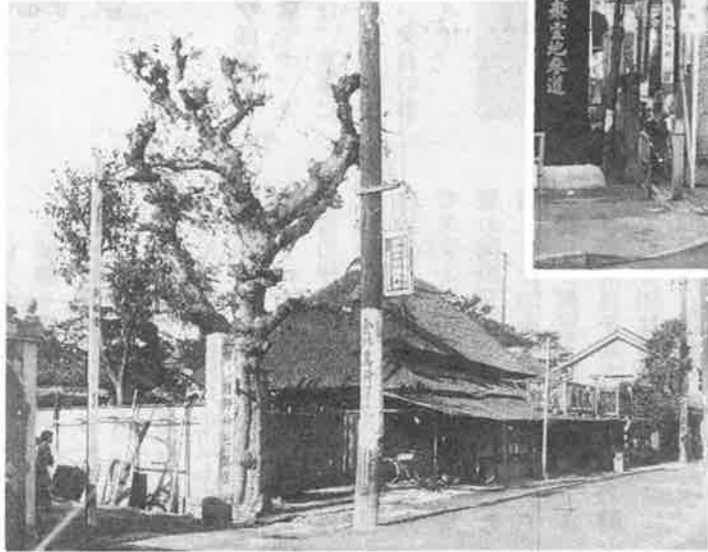
☆そして今と違って、写真が人物本位に撮られていたことを知りました。

☆懐かしい入二小の校庭に、もしかしたら、ご自分のお姿を発見できるかもしれません。

(篠原編集委員)

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 『わがまち新井宿』編集委員会
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央四一三一一四
三三七六一五三九一

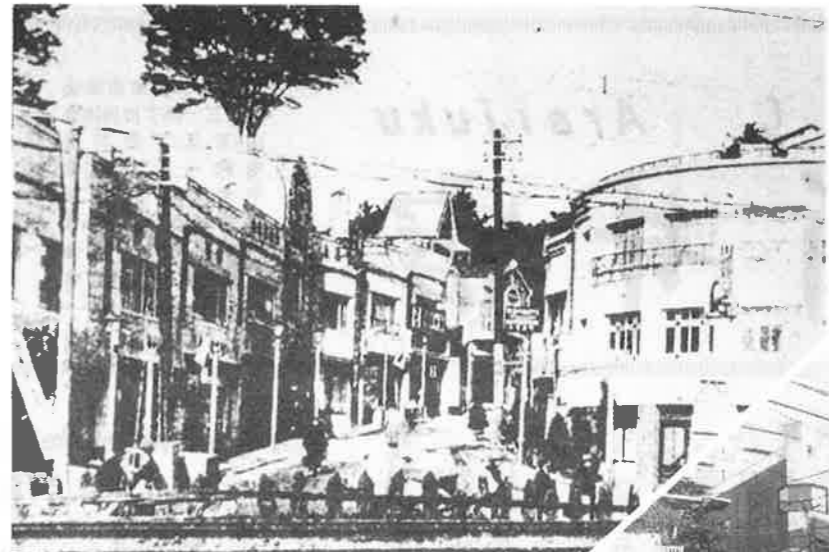
昭和三年（1928年）69年前の池上通り。
写真の建物は中村氏宅（大門）です。
この時代を知っている人たちには郷愁を感じさせる一枚です。



(写真提供 山王三丁目町会
中村 茂夫さん)

わがまち 昔と今 の川

せとやムラーのスナツツツツ
橋かかんだけじゃ 物足りなら
歴史の感動
時代のまじり
五臓六腑を駆け抜ける



明治九年に鉄道が開通していたので、この頃には
商店なども建ち並んでいました。また池上通りには
乗合馬車が走っていて、本門寺参詣に大切な乗り
物でした。（山王三・四丁目自治会）

線路越しに写された暗闇坂
大正末年ごろ
（大田区の文化財
第十九集より）



校舎は木造から鉄筋へ
二階建てから三階建てに
児童数はご覧の通り



↑
入新井第二小学校の朝礼 昭和十三年
(写真提供 新井宿五丁目町会
入新井第二小学校)



昭和三十五年六月
春日神社大祭
宮司さんが馬に乗っての
巡行の姿です。

内川三ツ木橋付近
(写真提供
旧新井宿七丁目町会
横田 春子さん)

